

忍岡小 だより



令和7年9月30日

台東区立 忍岡小学校
Shinobugaoka Elementary School

〒110-0008 東京都台東区池之端2丁目1番22号
TEL: 03-3822-4661 FAX: 03-5685-3591
HP: <http://www.taitocity.net/shinobu-es/>

校長 松田 正昭

最近 子供たちと接していて思うこと

副校長 中村 歩

厳しい残暑がようやく収まりを見せ、少しずつ秋の気配を感じる季節となりました。校庭でWBGTを計測していると赤とんぼを発見、秋の訪れを告げる使者の登場です。また、9月22日の給食には栗ごはんが出されるなど忍岡小学校も少しずつ秋モードへと変わってきています。夏休み明けから1ヶ月、子供たちは皆元気に登校していました。朝の校庭にはあいさつ当番の子供たちを中心に毎日明るいあいさつが響き渡っています。

昨年から行ってきたエレベーター工事もまもなく完成を迎えます。より多くの方々に忍岡小学校に足を運んでもらえると嬉しいです。

さて、9月10日(水)、忍岡小学校では「創立150周年記念事業 バルーンリリース」が行われました。子供たちが風船をリリースした1時間後には、足立区梅島にお住まいの男性から早速お電話で「忍岡小学校 創立150周年おめでとうございます。」とのメッセージをいただきました。私がそのことを伝える放送を入れると校内からは大きな歓声が起こりました。その声は何と職員室の私の耳にまで届いてきました。次の週始めには茨城県のかすみがうら市から、週終わりには神奈川県の大和市から、そして更に次の週には茨城県の水戸市からお手紙が届きました。水戸市在住の女性から届いたお手紙には

先日(11日)夕方、庭のバラの枝にからまって破れたタコの足のような風船を見つけました。見るとメモの紙が付いており、「台東区立忍岡小学校150周年」の文字が見えました。ウラ側には「きゅうしょくおしいよ。そして、たのしいよ。きてみてください。」という言葉が書いてありました。思わずこんな遠いところまでよく飛んできたなと思い、感無量の気持ちになりました。年をとり、東京に出かけることはできなくなりました。水戸の地から「150周年おめでとうございます。」これからも元気で楽しくお過ごしください。

と書かれていました。神奈川県の大和市からお電話をくださった男性は本校児童のお祖父様ということで「孫の学校の風船とメッセージが届いて嬉しくなって…。150周年おめでとうございます。」とのメッセージをくださいました。また、別の日の20分休み、3年生の男の子が2名、職員室の私を訪ねてきました。背中には何かを隠し持っているように見えました。「どうしたの?」と声を掛けると、後ろからパッと手を出して、「副校長先生、ぼくたちもメッセージカードを拾ったの。忍岡小学校150周年おめでとう。」と笑顔で報告してくれました。子供たちの豊かな心に感動する毎日です。心温まる素敵なサプライズに喜ぶ子供たちを見ていると自分の通う小学校が150年もの長い歴史と伝統を紡いできた由緒ある学校であり、自分たちは今まさにその貴重な瞬間に立ち会っているという事実を少しずつ実感できているように感じます。今後は、10月3日(金)には創立150周年記念集会、10月29日(水)には創立150周年記念たてわりスタンプラリー、11月12日(水)には東京大学永野助教による「不忍池と地域の歴史」をテーマにした周年記念講演会が予定されています。

教職員、子供たち、地域の皆様が一丸となって11月22日の式典を迎えられるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。